

東邦TL34F1E3S型
セミトレーラ外観四面図

東邦車輛株式会社 殿

中運技第 号
令和 年 月 日
中部運輸局長

概要等説明書(試作車・組立車等審査結果通知書)

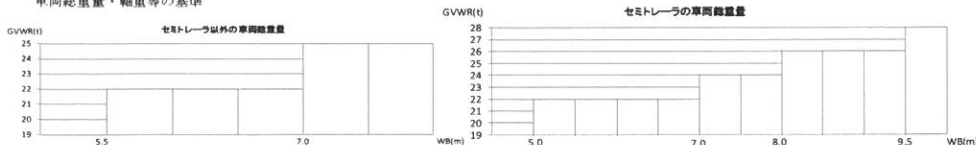
[指示事項]

1. 本試作は製造番号 TL34F1E3S-G504～G508 の5台限りとする。
2. 車台番号は、職権打刻を受けること。
3. 全幅・車両総重量については[道路運送車両の保安基準]の緩和を受けること。
4. けん引車については次により検討した。
車名 UDトラック 2PG-GK5AAB[第5輪荷重11.5t (309kW)]

主要諸元比較表 (試作車)組立車、試作車・組立車改造

項目	標準車	試作車・組立車	基準・限度	項目	標準車	試作車・組立車	基準・限度	
車名		東邦		乗車定員人		-		
型式		TL34F1E3S		最大積載量 kg		25000		
自動車の種別		普通		車両総重量 kg	前前軸重	7265	(- kg)	
用途		貨物				後前軸重	8845	≤10t (- kg)
車体の形状		セミトレー				後中軸重	8845	≤10t (- kg)
燃料の種類		-				後後軸重	8845	≤10t (- kg)
原動機型式		-				計	33800	≤24t (- kg)
総排気量(L)又は定格出力(kW)		-		最大安定傾斜角度°	左	※52(計算値) 一般 ≥35°		
長さ m		8.990 (8.540)	≤12m		右	※52(計算値) その他 ≥30°		
幅 m		2.990	≤2.5m	タイヤサイズ	前前軸	-		
高さ m		2.900	≤3.8m		後前軸	235/75R17.5 (10300 kg)		
軸距 m		5.030+1.100			後中軸	235/75R17.5 (10300 kg)		
		+1.100				後後軸	235/75R17.5 (10300 kg)	
		=7.230			前輪荷重	空車	-	
輪距 m		前前輪		割合	積車	≥18、20%		
		後前輪		2.110		リヤ・オーバーハングm	0.940	≤ 1/2 (3.615 m)
室内又は荷台の内側の寸法		長さm	5.470	荷台オフセット m		1.595		
		幅 m	2.990		最小回転半径 m		※ 8.1	≤12m
車両重量 kg		前前軸重	760	計	8800			
		後前軸重	2680					
		後中軸重	2680					
		後後軸重	2680					

車両総重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8m未満(1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	17690kg ≤ 18 t	kg ≤ 20t	kg ≤ 19 t

能力強度等検討

制動能力	踏力 -N 60km/h	5.26 m/s ²	車軸強度	×
	空気圧 650kPa		操縦装置強度	×
推進軸強度	回転数	-	緩衝装置強度	$\sigma B / \sigma = 1814.2 / (355.4 \times 2.5) = 2.04 > 1.6$
	強度	-	制動装置強度	$\sigma Y / \sigma = 1274.9 / (355.4 \times 2.5) = 1.43 > 1.3$
車枠強度	$\sigma B / \sigma = 570 / (62.645 \times 2.5) = 3.63 \geq 1.6$		連結装置強度	$\sigma B / \sigma = 444 / 217.4 = 2.04 > 1.6$
	$\sigma Y / \sigma = 450 / (62.645 \times 2.5) = 2.87 \geq 1.3$			×

- 注1：(試作車・組立車)の欄には、該当するものを○で囲むこと。
 注2：能力強度検討欄は、該当しないものは-、省略したものは×を記入すること。
 注3：能力強度等検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
 注4：※印は UDトラック 2PG-GK5AAB型トラックと連結時の計算値を示す。

装置の概要

目的	建設機械の安全輸送をはかるため、低床式セミトレーラとして新たに製作されるものである。
車枠及び車体	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガー及びクロスメンバーとは電気溶接で組まれており、前部下面にキングピンを、後部に車軸装置を取付けている。当該自動車の「みなしバンパー」は、車体発19第205号(2020年3月26日)のタイプAとする。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東邦 TL26G4E2型セミトレー(3国自審第183号71236)と同一。車軸は高張力鋼で、中実丸軸スピンドル一体型の構造を有する。
操縦装置	
制動装置	(主ブレーキ) 空気圧内部拡張式 (駐車ブレーキ) スプリング式 ABS装置一式(KNORR製)
緩衝装置	イコライザー付きトリプルスプリングサスペンションの半だ円板ばね型である。
連結装置	東邦 TF50H4C3型セミトレー(3国自審第564号71259)と同一。 第5輪方式 JIS D 6602に準じて製作してある。
燃料装置	
電気装置	

- 注1 該当する事項がない場合については、斜線を記入すること。
 注2 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)に基づく勧告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第63条の2、第63条の3関係)